

NIH、GEOHealth 拠点 7 施設設立のために提携団体と共同で 5 年間に亘り
2,090 万ドルを助成（10 月 8 日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）は 10 月 8 日、低中所得国（low- and middle-income country : LMIC）において地域の研究・研修センターとなる世界環境・労働衛生（Global Environmental and Occupational Health : GEOHealth）拠点 7 施設を設立するために、米国及びカナダの提携団体と共同で、今後 5 年間に亘り 2,090 万ドルを助成することを明らかにした。GEOHealth 拠点は、一般的な環境・労働衛生問題を取り扱った研究・研修テーマにおいて協力し合う、学際的研究者グループとパートナー団体で構成される。各拠点は、地域において重要な主要テーマに関する研究に取り組む LMIC の主導研究機関に対する助成と、その関連研究・研修を監督する米国研究機関に対する助成という、2 種類の助成を受給することになる。GEOHealth 助成の調整は、NIH 傘下のフォガーティ国際センター（Fogarty International Center）が担当し、同センターの他、同じく NIH 傘下の国立がん研究所（National Cancer Institute : NCI）と国立環境衛生科学研究所（National Institute of Environmental Health Sciences : NIEHS）、米国疾病管理予防センター（Centers for Disease Control and Prevention : CDC）傘下の米国労働安全衛生研究所（National Institute for Occupational Safety and Health : NIOSH）、及び、カナダの国際開発研究センター（International Development Research Centre）などが助成資金を拠出している。今回助成を受給するのは、インド公衆衛生財団（Public Health Foundation of India）とハーバード大学公衆衛生学部（Harvard School of Public Health、マサチューセッツ州）で構成される「大気汚染と衛生 GEOHealth 拠点研究・能力構築プログラム（Air Pollution and Health GEOHealth Hub Research and Capacity Building Program）」を含む 7 拠点である。

National Institutes of Health, US and Canada partner to invest \$21 million for research hubs in developing countries
<http://www.nih.gov/news/health/oct2015/fic-08.htm>